

スマレジ

第15期第一四半期 決算説明資料 FY2020 1Q

2019.5.1～2019.7.31

Presentation

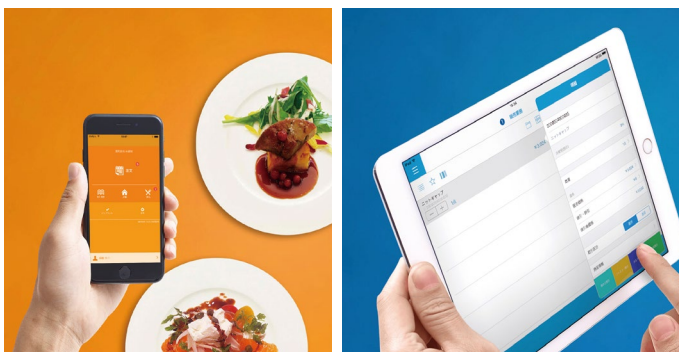
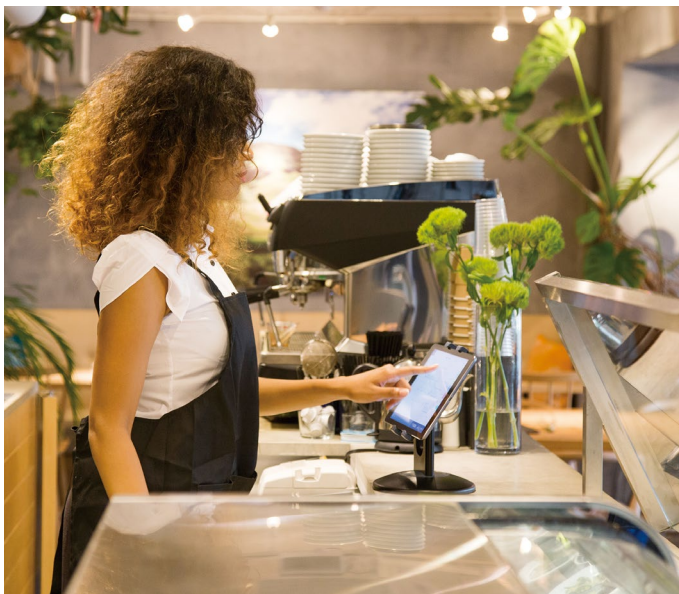
Material

株式会社スマレジ 証券コード：4431

P3	事業の説明
P6	20年4月期1Q 決算概要
P19	事業の状況
P28	20年4月期 業績の見通し
P32	今後の展望

事業の説明

ABOUT SMAREGI

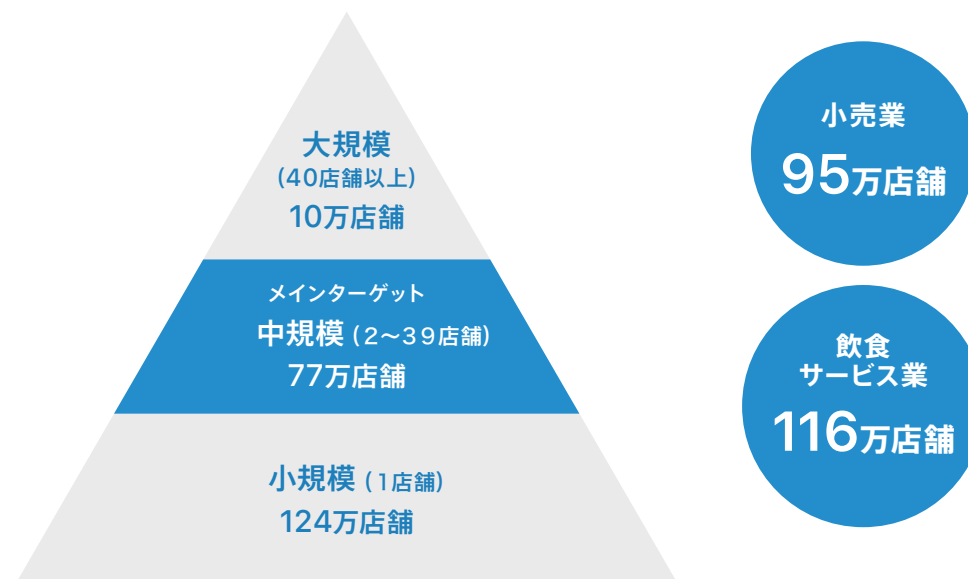


高機能クラウド型 POS レジ

スマレジは、モバイル POS と呼ばれるクラウド型 POS レジ システムです。

基本レジ機能の他、リアルタイム売上分析や高度な在庫管理など、アパレルを中心とした小売業や飲食業、サービス業のニーズに応える多くの機能を持ち、従来型 POS レジシステムの枠を超えた、クラウドベースの新しい POS レジ システムです。

スマレジは、インターネットとテクノロジーやデザインの活用により、店舗運営の効率化を実現し、蓄積され続ける販売データを中心とした販売データのプラットフォームを目指します。

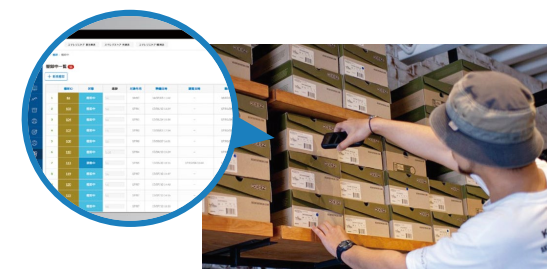
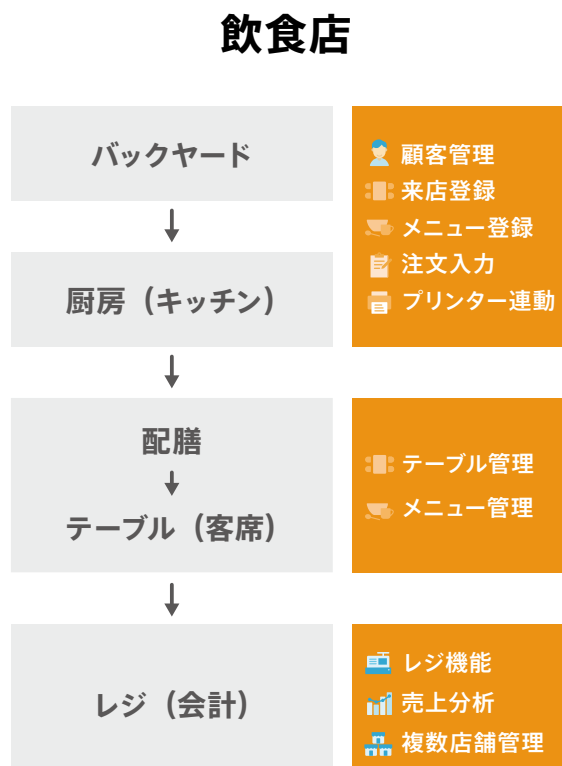
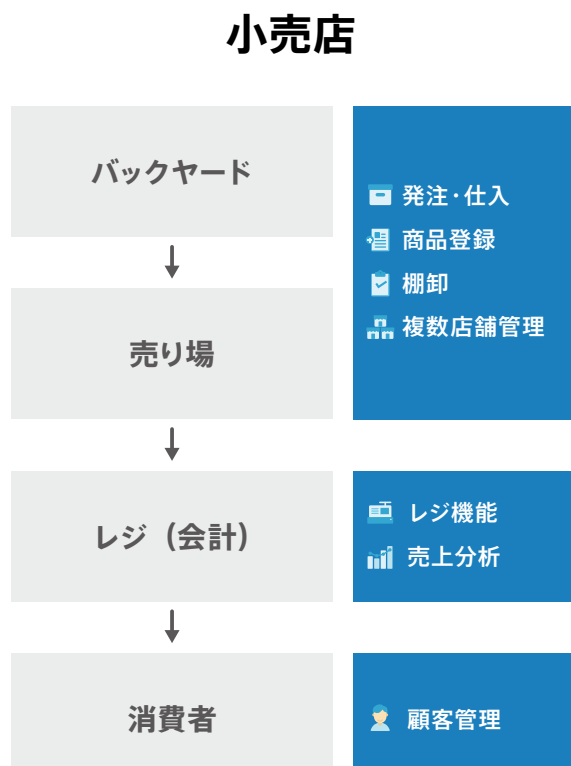


経済産業省・総務省「平成28年経済センサス」の調査結果を基に当社作成。企業の従業者数別データを基に1店舗あたりの従業者数を7.9人として従業者別の店舗数を推計しています。(小売業の1店舗あたりの従業者数：7.9人)

※コンビニエンスストア約5万店舗を省いています。

スマレジの機能

レジ機能だけでなく、小売店や飲食店の業務や管理に必要な機能を提供
業務効率化と「売上分析」や「顧客管理」など、データ分析による競争力強化に貢献



20年4月期1Q 決算概要

FY2020 2019.5~2019.7

- 消費税増税に伴う軽減税率への対応による駆け込み需要の影響で、新規獲得件数が増加
- 売上高は、前期比**192.5%**の7億7千2百万円と大きく成長し、**過去最高の四半期売上高**を更新
- 営業利益は、前期比**313.7%**の2億9百万円と大きく成長し、**過去最高の四半期営業利益**を更新
- **6期連続増収**と**4期連続増益**に向け順調なスタート
- 上場による認知や信頼性の向上により、**大型案件の受注も増加**

業績ハイライト

20年4月期1Q 決算概要

8

(百万円)	19年4月期 1Q実績	20年4月期 1Q実績	前年同期比 YoY	20年4月期 通期計画※	20年4月期 達成率
売上高	401	772	192.5%	3,080	25.1%
営業利益	66	209	313.7%	642	32.6%
経常利益	66	209	315.0%	642	32.6%
当期純利益	48	144	300.4%	440	32.7%

百万円未満を切り捨てて表示しています。

※2019.9.6付けで20年4月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正を開示いたしました。

貸借対照表

20年4月期1Q 決算概要

9

(百万円)	20年4月期 1Q	19年4月期 1Q	前年同期比 YoY	19年4月期 4Q	前四半期比 QoQ
流動資産	3,061	622	492.0%	2,921	104.8%
うち現預金	2,747	485	566.5%	2,721	101.0%
固定資産	328	315	104.1%	320	102.6%
資産合計	3,389	938	361.3%	3,242	104.6%
流動負債	422	205	205.8%	423	99.6%
固定負債	49	137	35.8%	49	100.0%
負債合計	471	342	137.7%	472	99.7%
純資産合計	2,918	595	489.8%	2,769	105.4%
負債・純資産合計	3,389	938	361.3%	3,242	104.6%

損益計算書

20年4月期1Q 決算概要

10

(百万円)	20年4月期 1Q	19年4月期 1Q	前年同期比 YoY	19年4月期 4Q	前四半期比 QoQ
売上高	772	401	192.5%	621	124.2%
売上原価	343	164	208.8%	269	127.4%
売上総利益	428	236	181.2%	351	121.7%
販売費及び 一般管理費	219	169	129.1%	219	99.7%
営業利益	209	66	313.7%	132	158.4%
経常利益	209	66	315.0%	117	178.5%
当期純利益	144	48	300.4%	89	161.2%

四半期 損益計算書

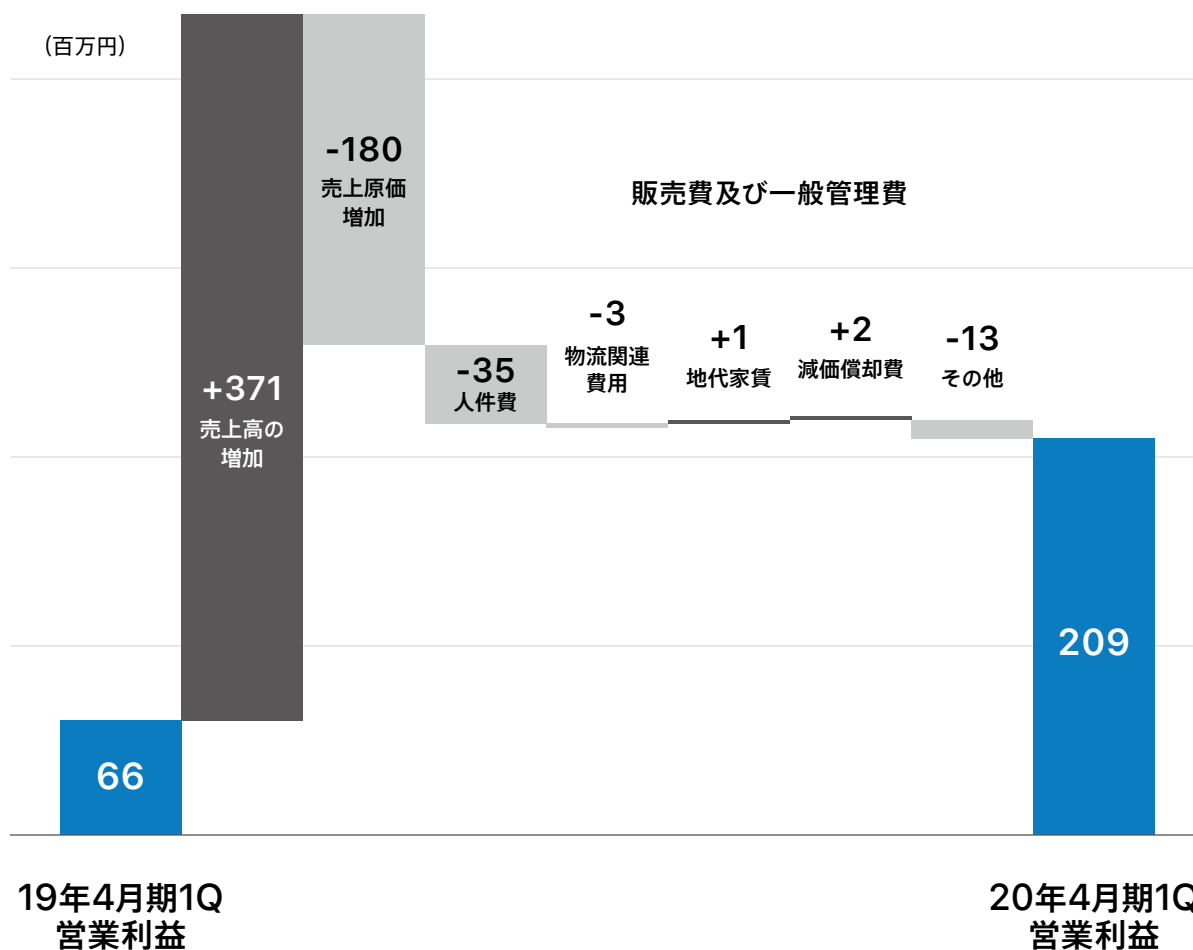
20年4月期1Q 決算概要

11

(百万円)	19年4月期				20年4月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	401	474	479	621	772
売上原価	164	201	190	269	343
売上総利益	236	272	289	351	428
販売費及び 一般管理費	169	163	166	219	219
営業利益	66	109	123	132	209
経常利益	66	109	115	117	209
当期純利益	48	76	79	89	144

営業利益の増減要因分析

上場による信頼性向上や軽減税率の影響による売上高の増加



売上高の増加

- 有料契約の増加 (有料店舗率が向上)
- 解約率の低さによるストック売上の増加
- 軽減税率によるレジ入れ替え需要の増加

売上原価の増加

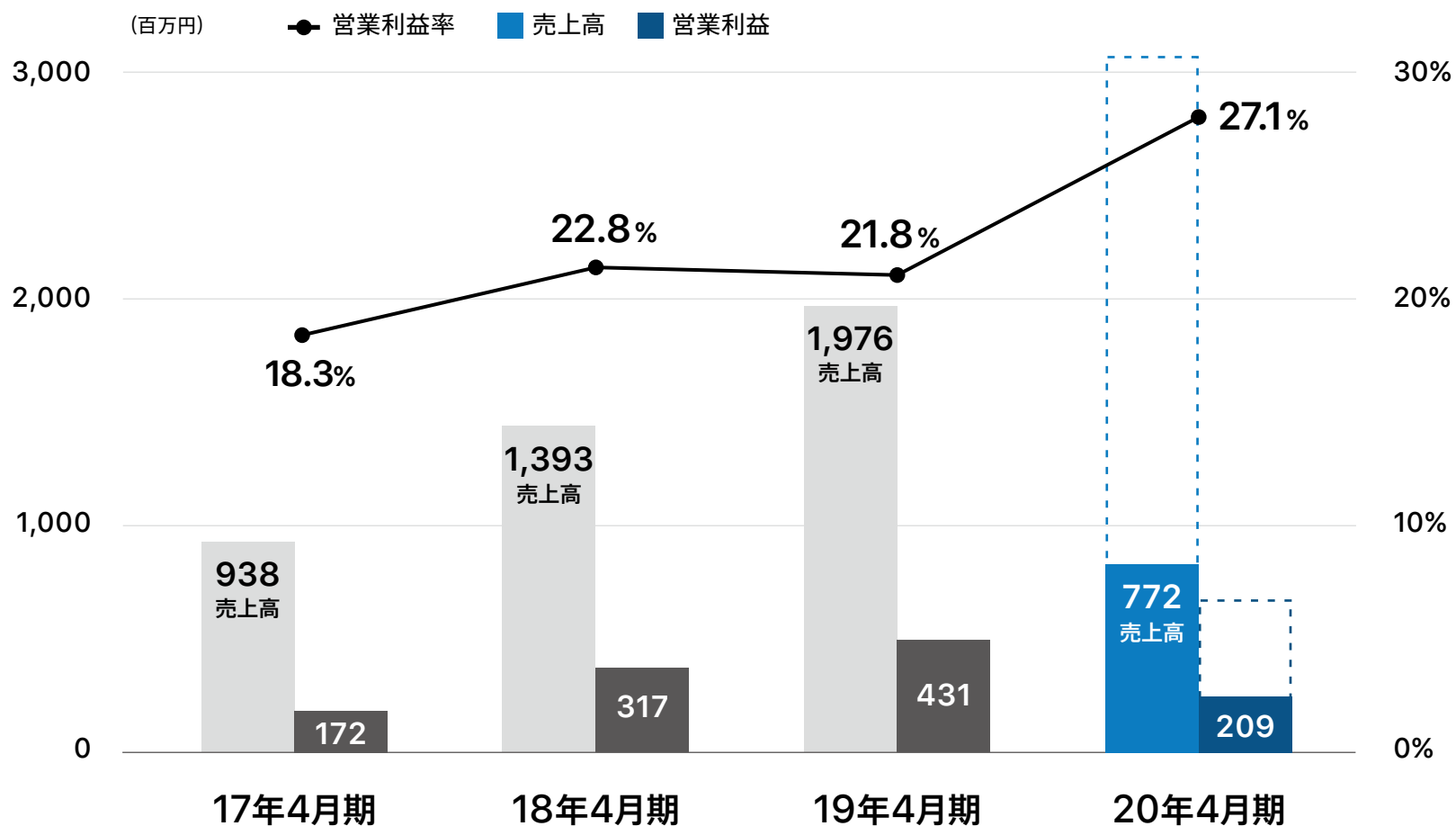
- 売上増加に伴うサーバー費用の増加
- 人員増加による人件費の増加

販売費及び一般管理費の増加

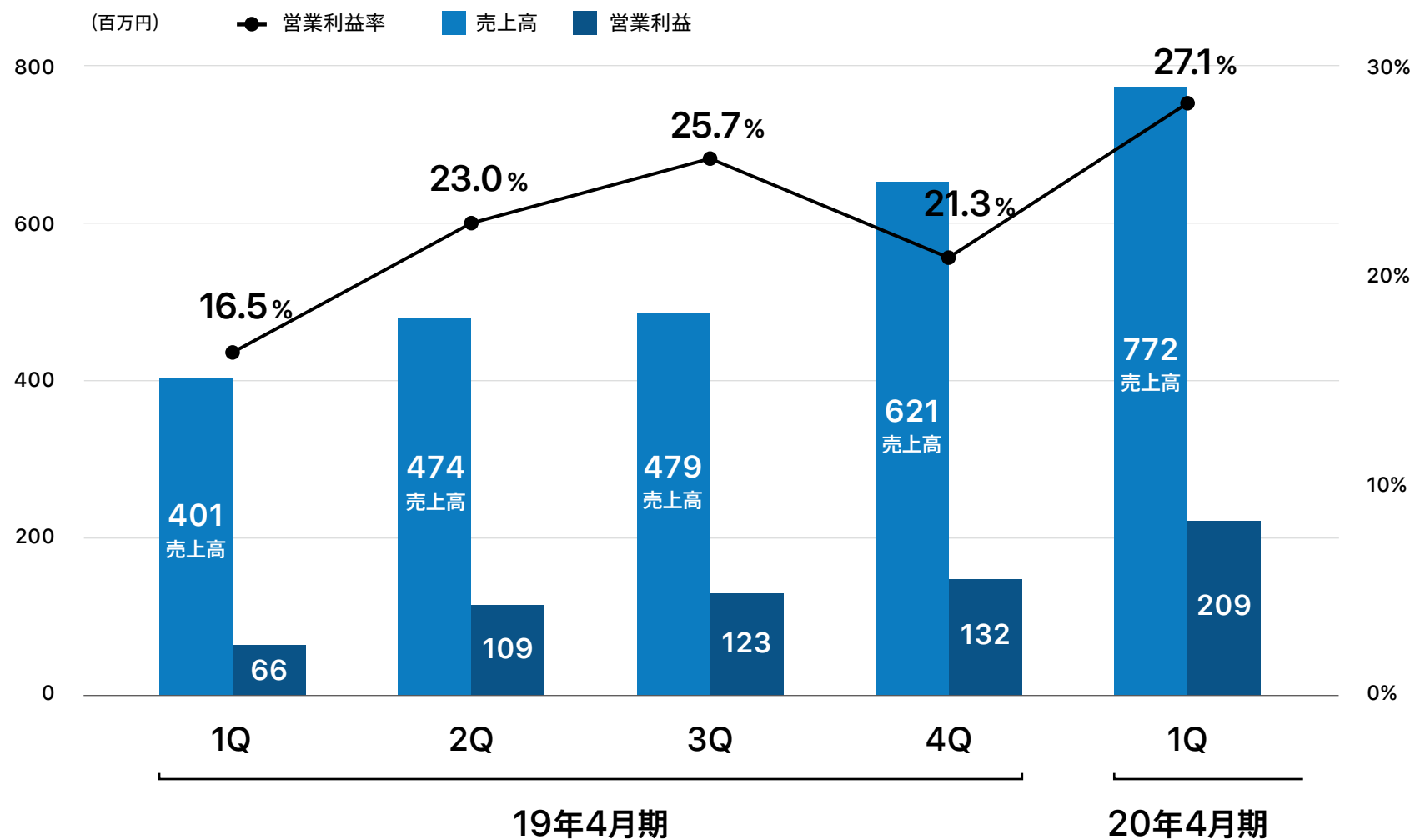
- 役員、従業員の増加 (86名→97名) に伴う人件費及び移動交通費の増加
- 売上増加に伴う物流関連費用の増加

売上高・営業利益・営業利益率の推移

20年4月期1Qの売上高進捗率は25.1%、営業利益進捗率は32.6%

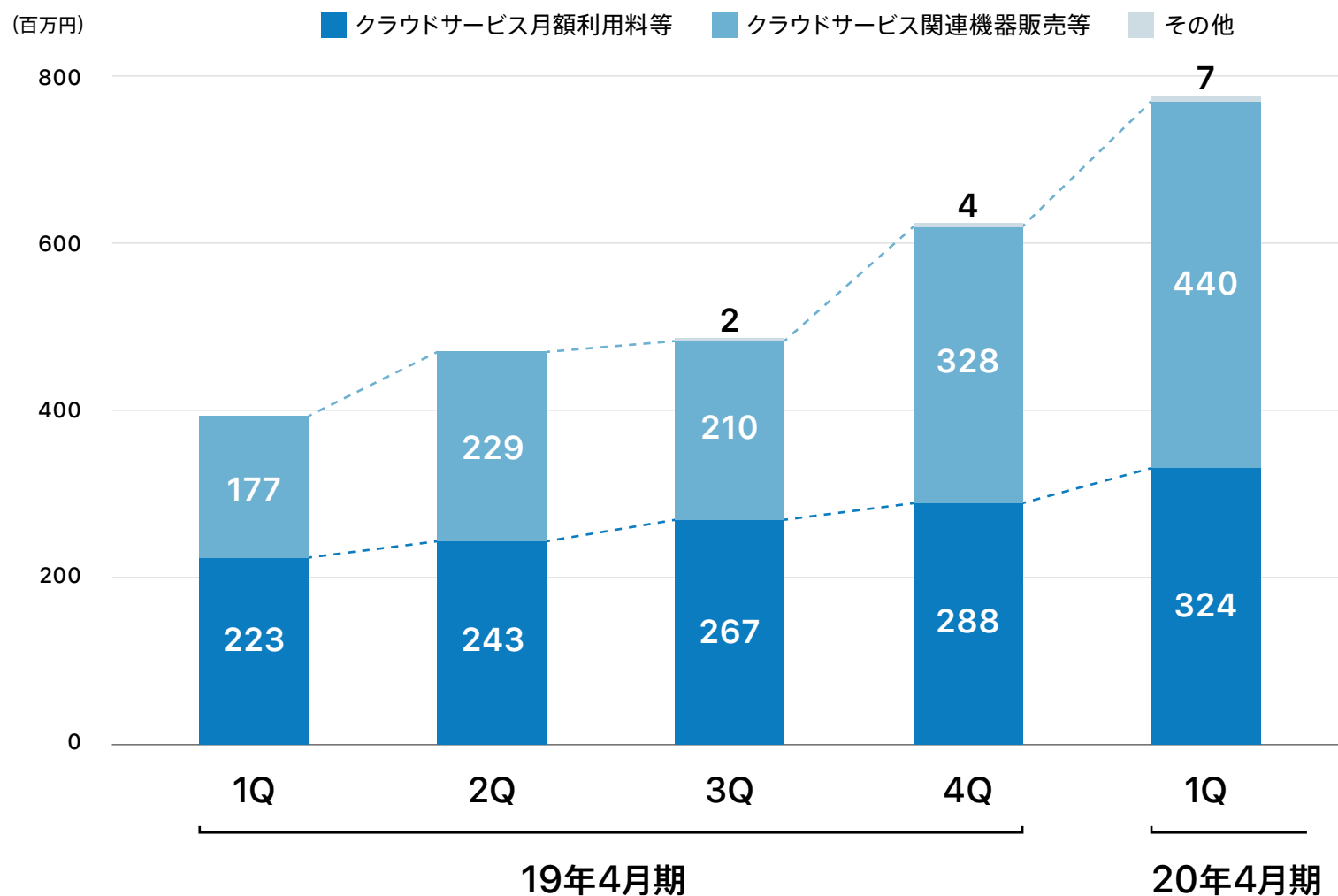


四半期売上高・営業利益・営業利益率の推移



売上高内訳の推移

消費税増税に伴う軽減税率への対応による駆け込み需要の影響により、関連機器販売が増加
サブスクリプション型ストック売上となる月額利用料にも好影響



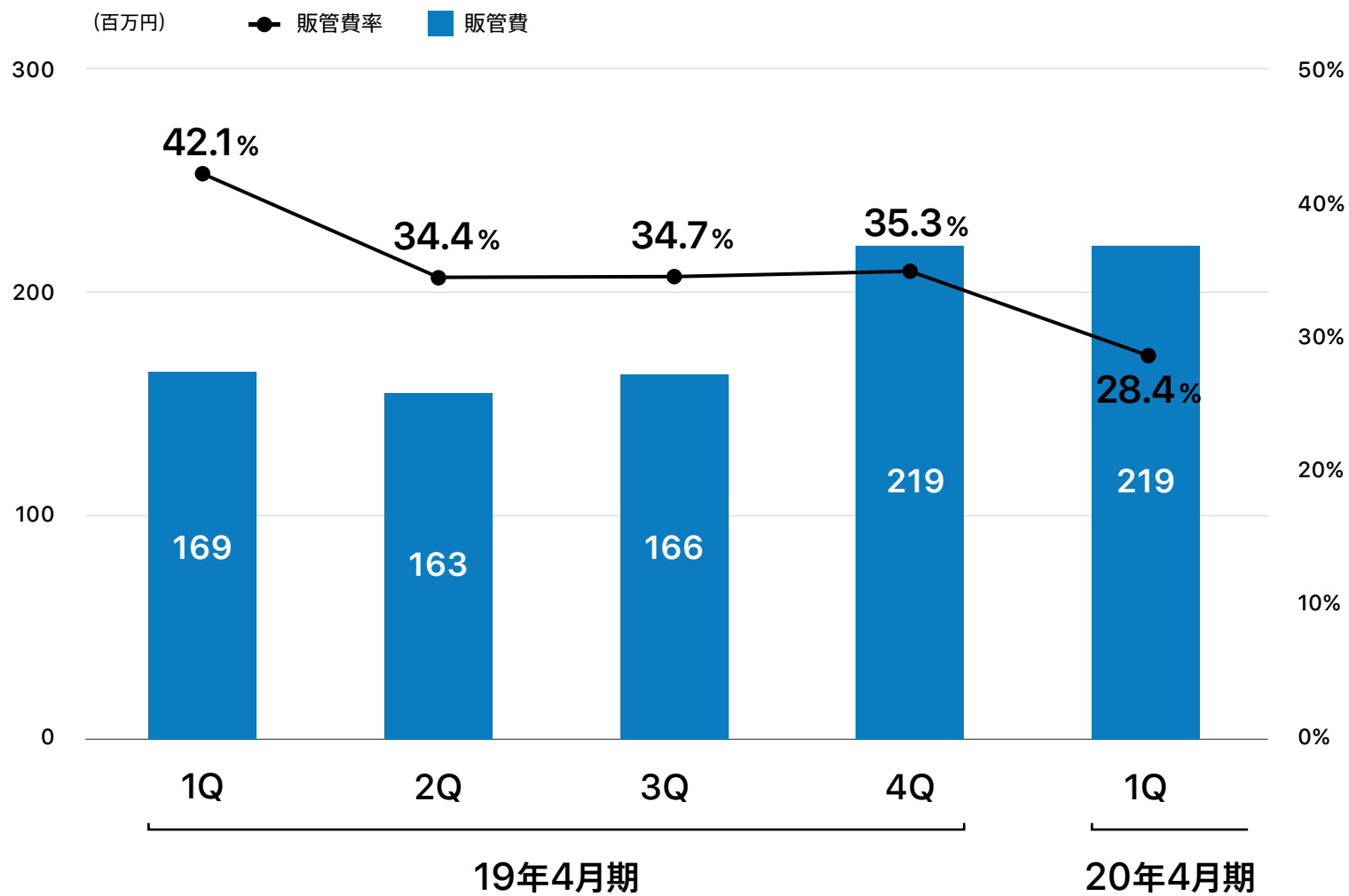
販売費及び一般管理費の内訳

20年4月期1Q 決算概要

16

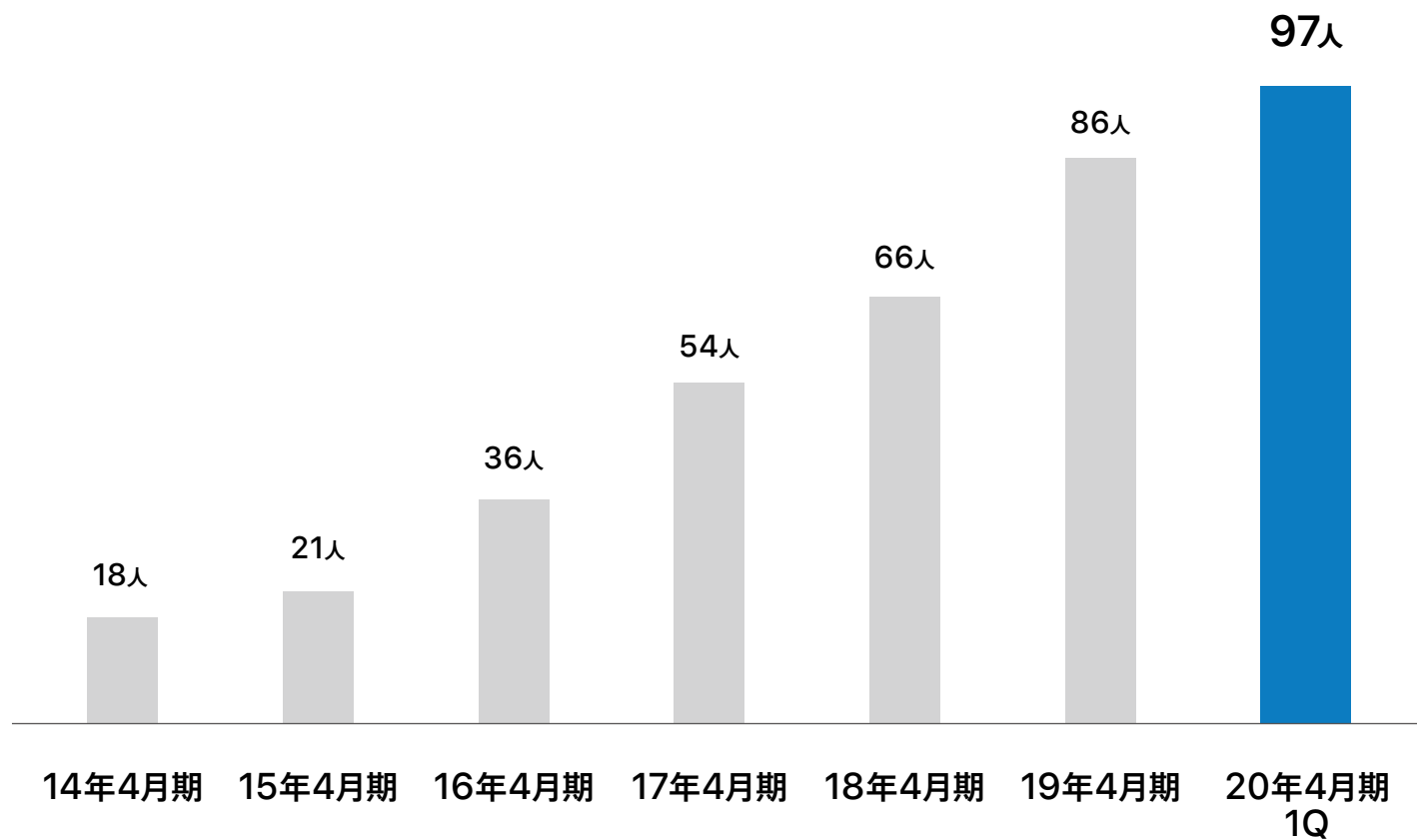
(百万円)	19年4月期 1Q	20年4月期 1Q	前年同期比	
			増減額	増減率
人件費	97	133	35	36.6%
物流関連費用	4	7	3	84.4%
宣伝広告費	5	5	-	0.8%
地代家賃	18	17	△1	-
減価償却費	6	4	△2	-
その他	36	50	13	36.8%
合計	169	219	49	29.1%

販売費及び一般管理費の四半期推移



社員数の推移

平均年齢32.3歳、平均勤続年数2年4ヶ月



事業の状況

BUSINESS SUMMARY

20年4月期1Qのトピックス



- 2019/7 ● 池袋ショールームの開設 (8月オープン)
- 2019/6 ● 当社株式が貸借銘柄に選定
- 経済産業省・中小企業庁による全国8ヶ所の「軽減税率・キャッシュレス対応推進フェア」に参加
- 2019/5 ● 消費税軽減税率対応への強化・加速に向けた経済産業省の特別会合に参加

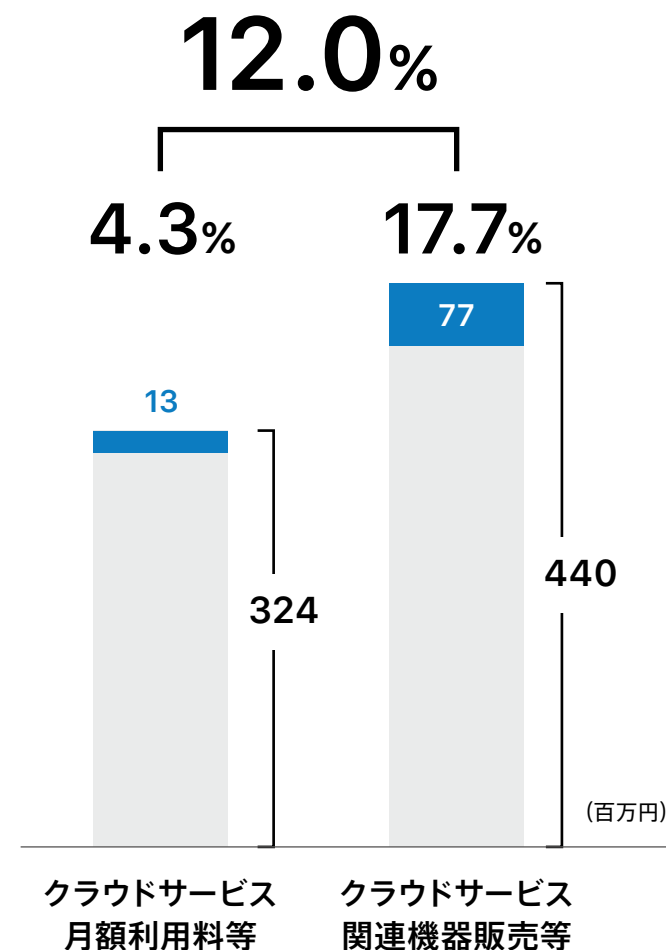
当社を取りまく環境

19年10月の消費増税に伴う軽減税率への対応需要が急増
20年4月期1Q業績に与えた影響は12.0%と推計

ポイント

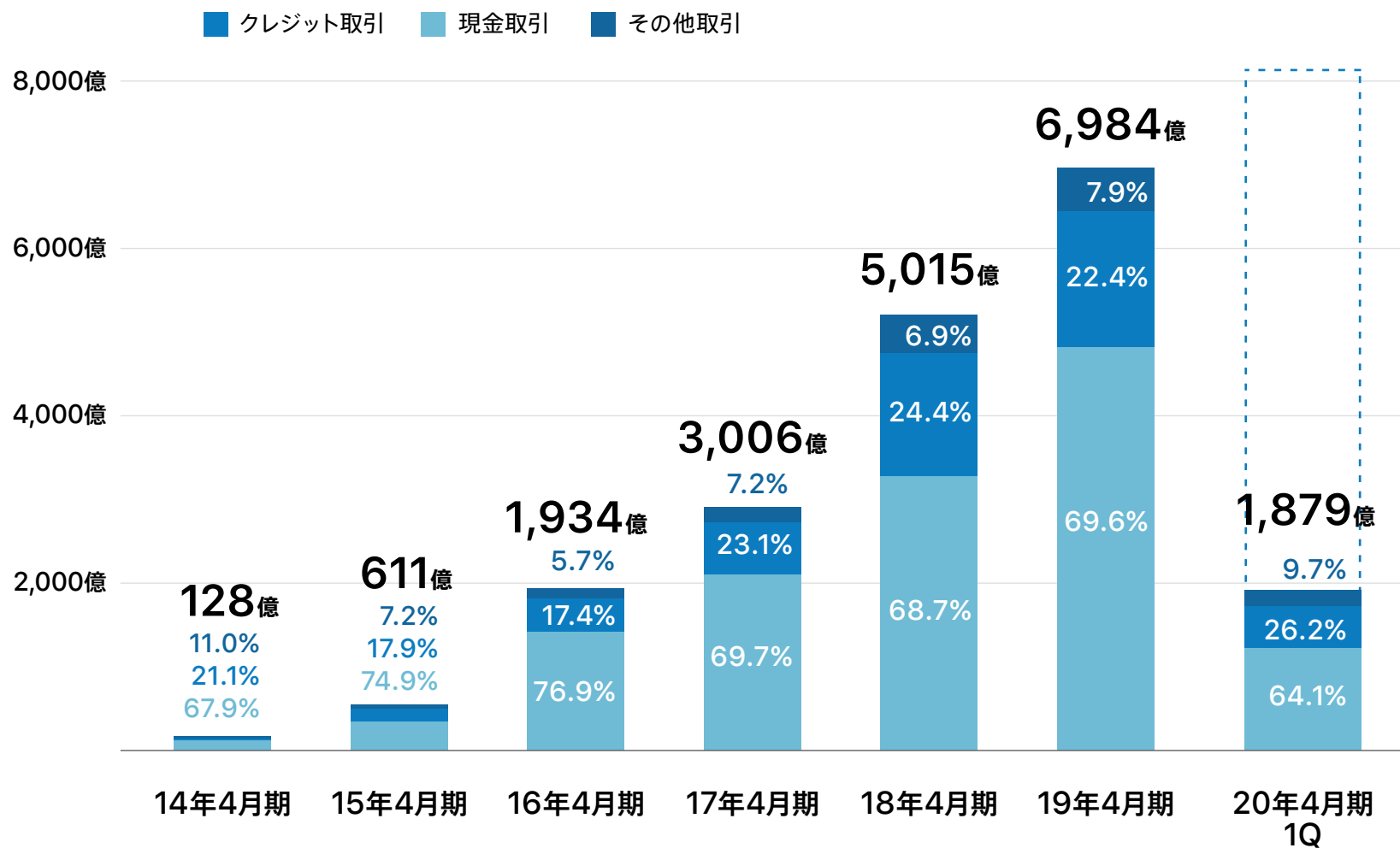
- 補助金申請ではなく、補助金申請の意思表示をした顧客が集計対象
- 補助金がなくてもPOSレジの導入や入れ替えを希望する顧客は存在する
- 軽減税率によるレジの入れ替え需要がモバイルPOSの普及を加速している

今期も需要は続くと見られるが、増税が延期になったとしても、当社にとっては依然として追い風であることに変わりはありません。



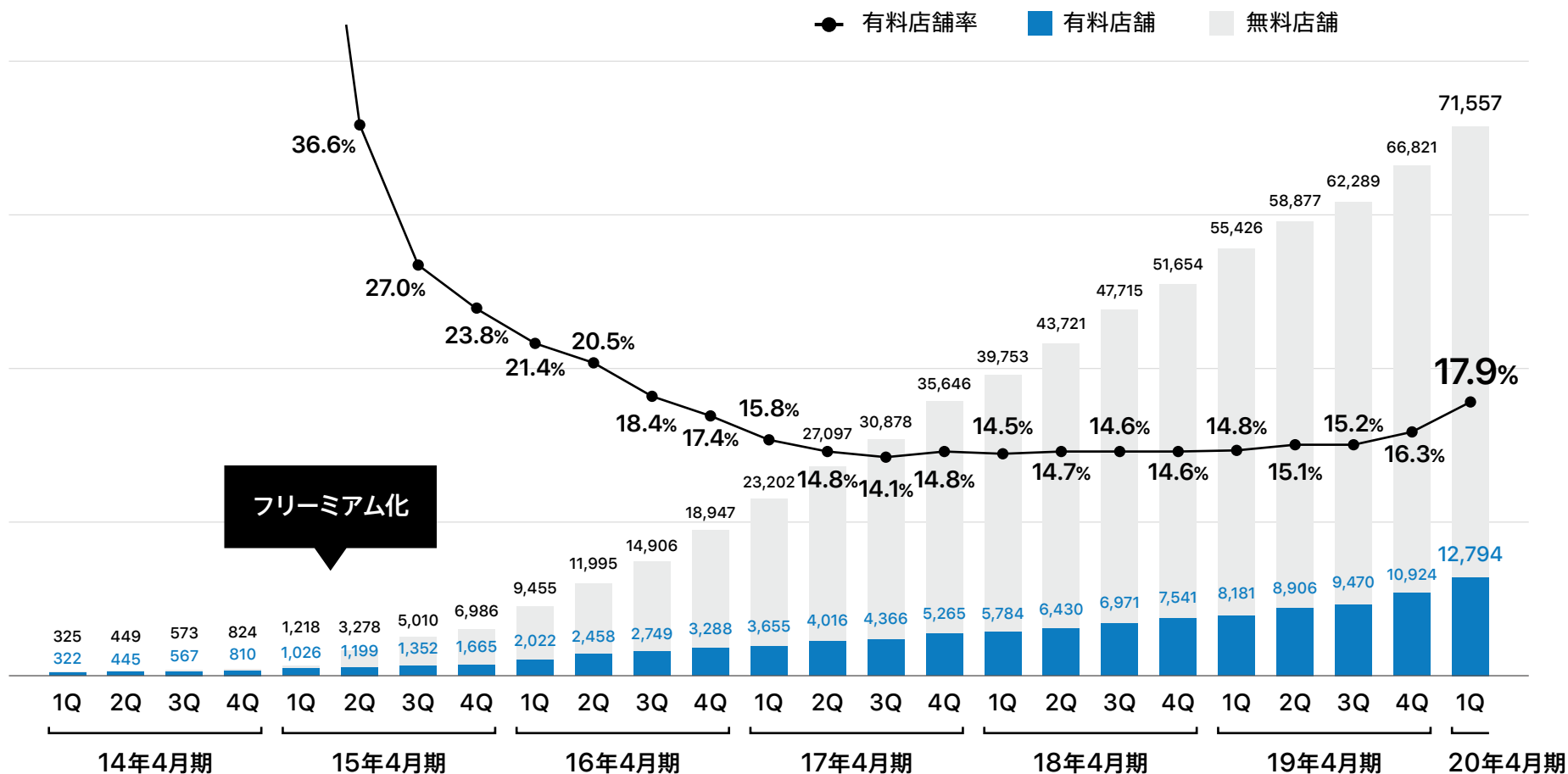
取扱金額の推移

前期比55.1%増、QRコード決済等の影響によりキャッシュレス率が上昇。



店舗数と有料店舗数の推移

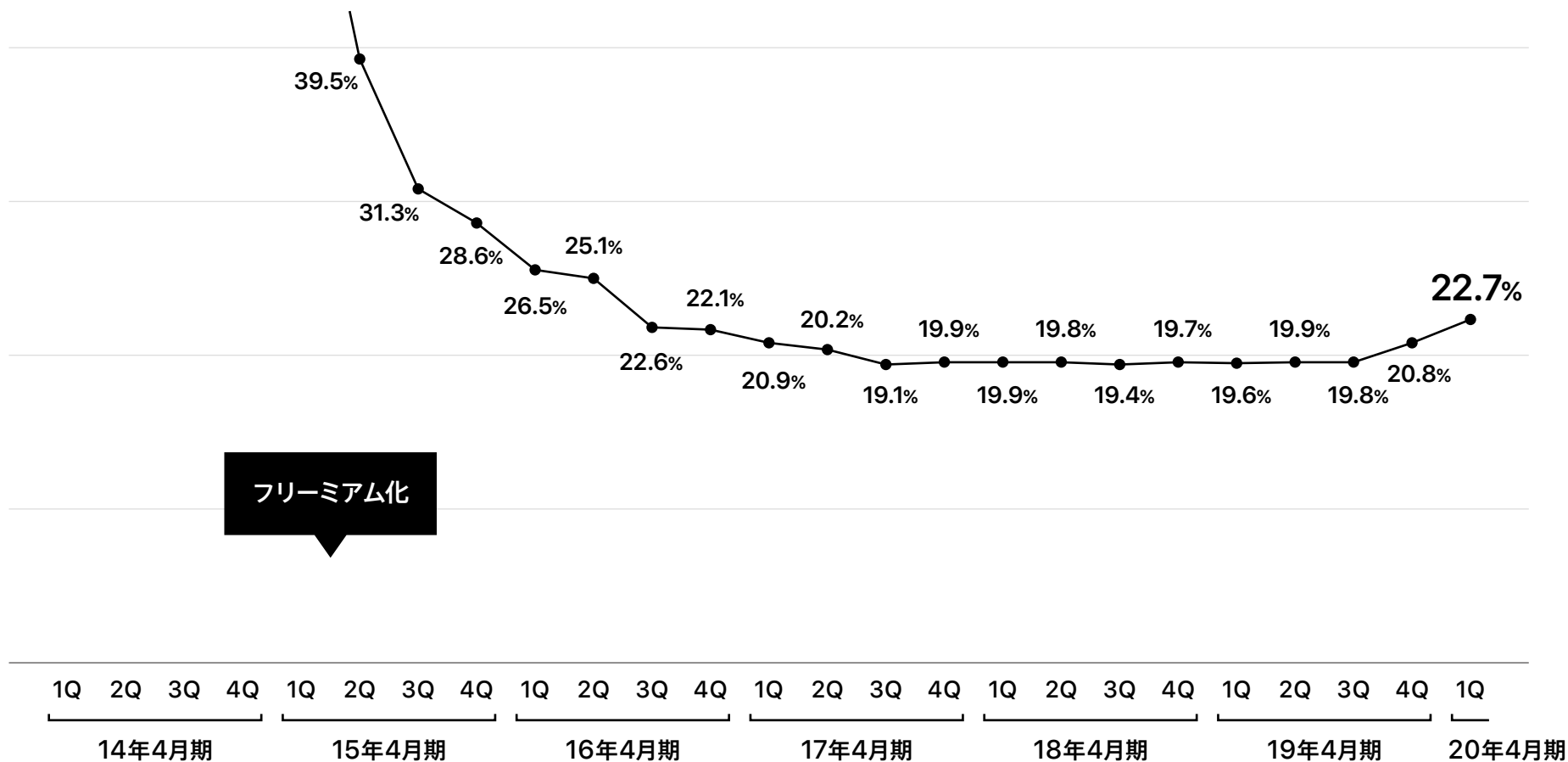
軽減税率特需等による有料店舗の増加により、有料店舗率が17.9%まで上昇



※2015年4月期にプレミアム化を実施。2014年4月期の有料化率は98.3%です。

アクティブ店舗率の推移

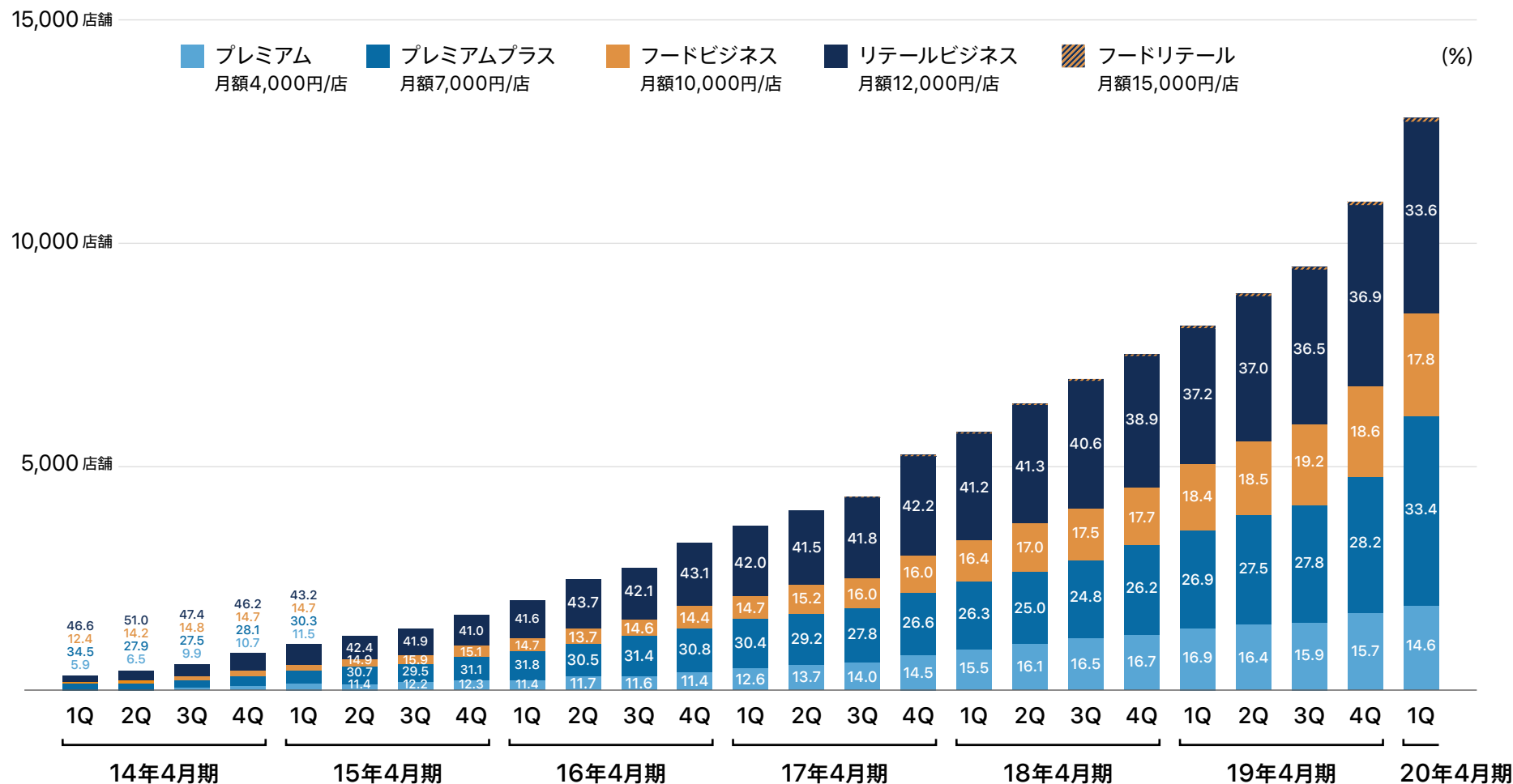
有料店舗の増加に伴い、アクティブ店舗率も22.7%に上昇



アクティブ店舗：当月の取引が存在する店舗

有料プラン別店舗数の推移

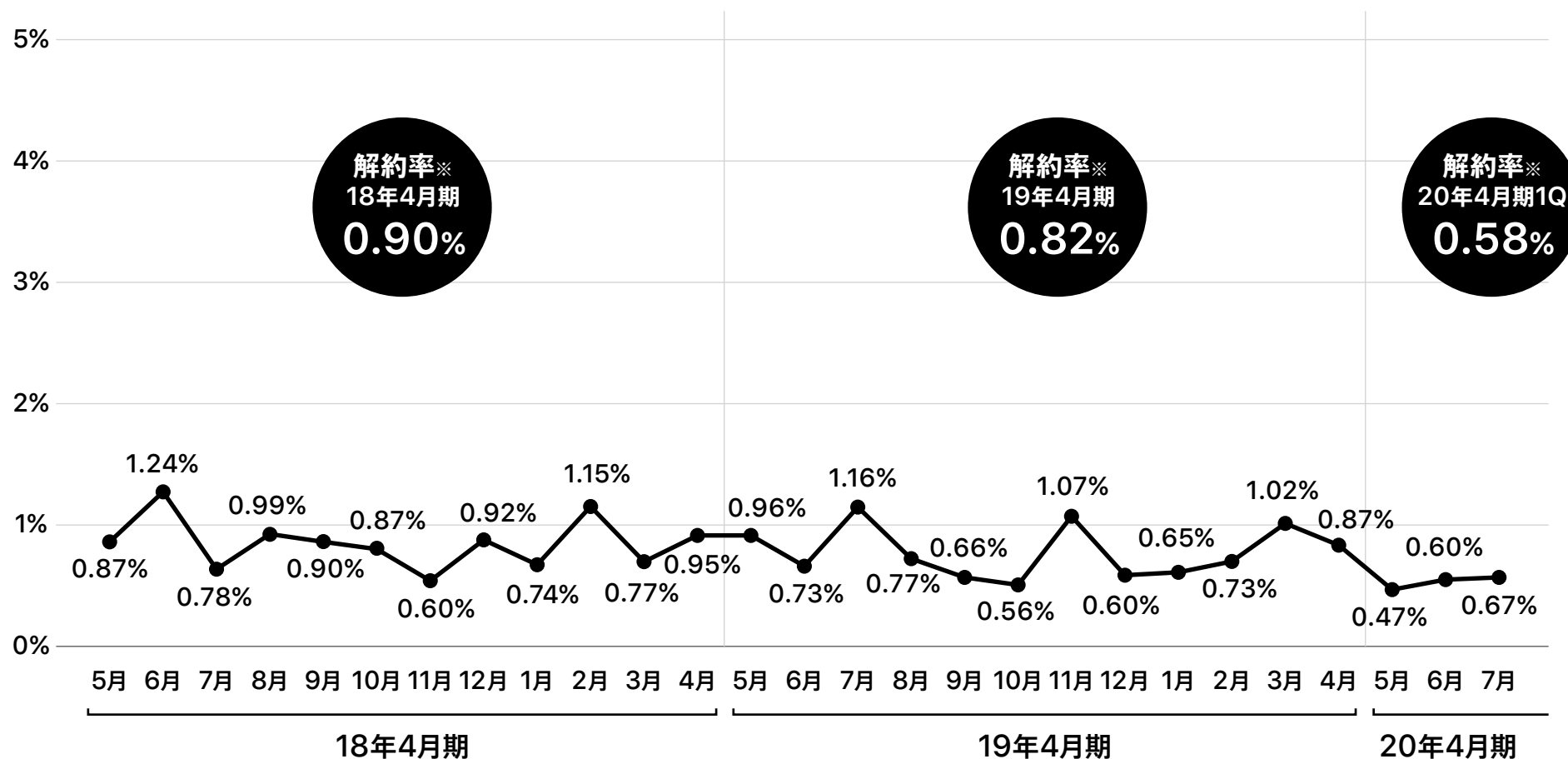
小売業向けリテールビジネスプランが人気。飲食店向けプランも純増



※スタンダードプランをご利用中で、オプション機能の利用による課金はカウントしていません。

解約率の推移

低い解約率がサービス品質を証明。20年4月期1Qは0.58%で推移



※解約率 = MRR チャーンレート (既存顧客の月額利用料に占める解約により減少した月額利用料の割合)

中小企業向け業務システムへの取り組み

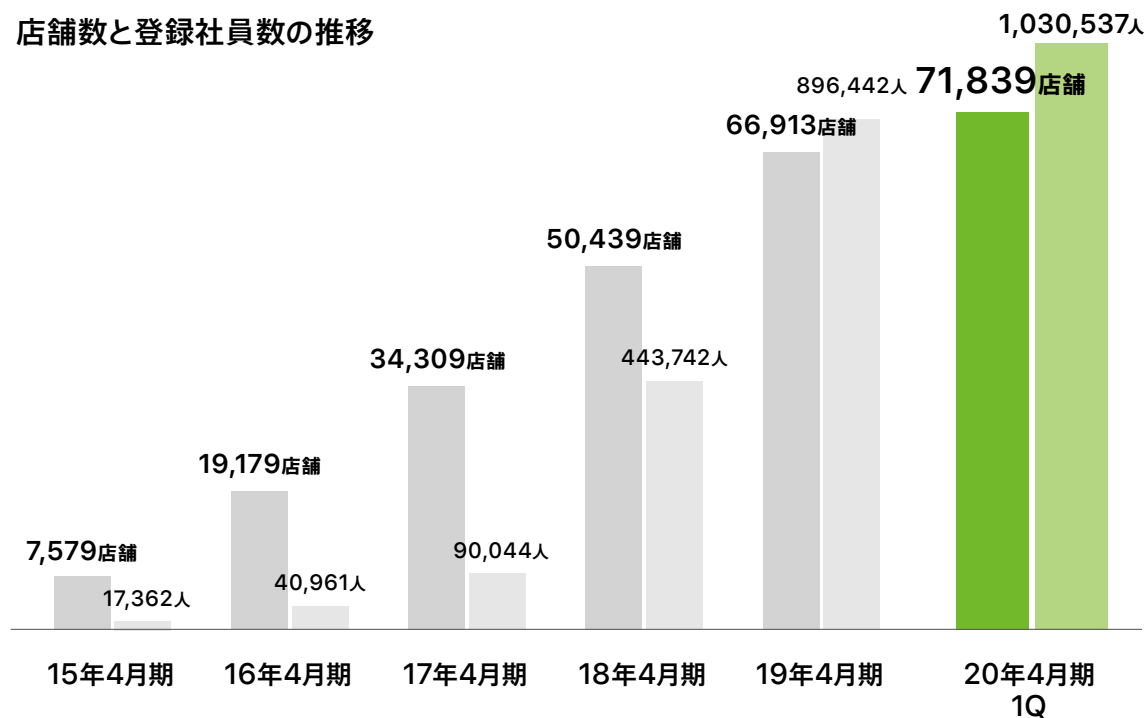
働き方改革などの社会的背景により、HR系サービス「スマレジ・タイムカード」が好調
顧客単価の向上だけでなく、新規顧客の開拓にも貢献



勤怠管理の枠を超えた、 これからの勤怠管理サービス

簡単に給与計算ができる勤怠管理システム。
休暇管理、シフト管理、日報、プロジェクト
管理などの機能をはじめ、各種保険や税計
算、複雑な賃金体系にも対応しています。

店舗数と登録社員数の推移



20年4月期 業績の見通し

BUSINESS PLAN FOR FY2020

- 消費税増税に伴う軽減税率への対応による駆け込み需要は、当初予想を上回り、**第2四半期及び通期の業績を上方修正**
- 軽減税率対策補助金の申込期間延長により、第2四半期にも影響する予想
- 売上高は、第2四半期16億69百万円 (**前期比190.8%**)、通期30億80百万円 (**前期比155.9%**) と高い成長率を見込む
- 営業利益は、第2四半期4億18百万円 (**前期比237.2%**)、通期6億42百万円 (**前期比148.8%**) を見込む
- 上場による信頼性向上等により、**大型案件の受注も増加**
- 上場時調達資金の活用により、スマレジ4への投資で**営業利益の成長は、やや鈍化するが、将来への投資フェーズであり、今後のさらなる成長に繋げる**

20年4月期 通期業績ハイライト (計画)

20年4月期 業績の見通し

30

(百万円)	19年4月期		20年4月期					
	2Q	4Q	2Q			4Q		
	実績	実績	修正前	計画	前期比	修正前	計画	前期比
売上高	875	1,976	1,154	→ 1,669	190.8%	2,500	→ 3,080	155.9%
営業利益	176	431	211	→ 418	237.2%	489	→ 642	148.8%
経常利益	176	408	211	→ 418	237.6%	489	→ 642	157.2%
当期純利益	124	293	164	→ 295	238.4%	368	→ 440	150.3%

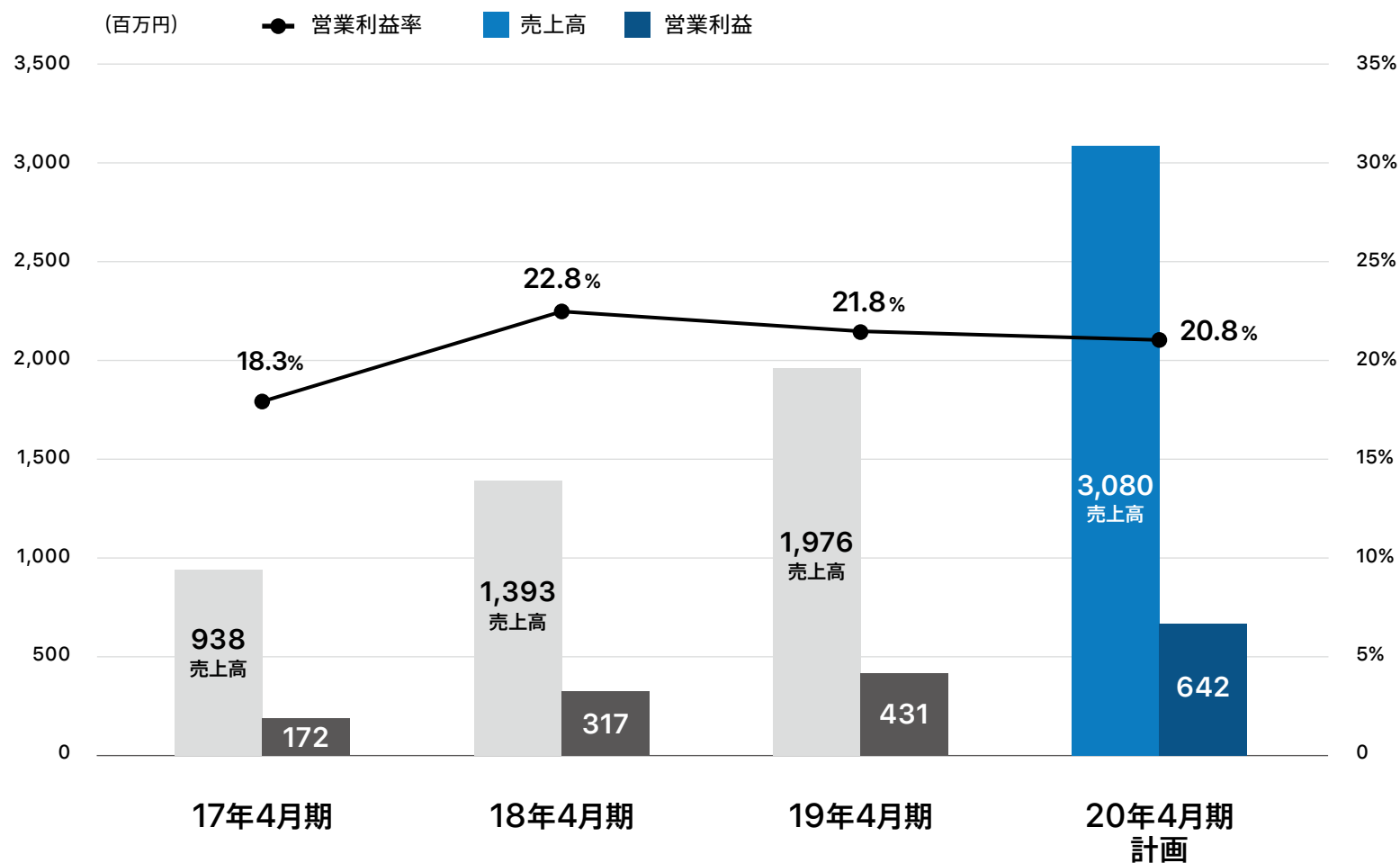
※2019.9.6付けで20年4月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正を開示いたしました。

売上高・営業利益・営業利益率の推移（計画）

20年4月期 業績の見通し

31

広告費や採用強化、バージョンアップによるサービス強化等、上場時調達資金の活用
販管費の増加により、一時的に営業利益率が低下する見込み



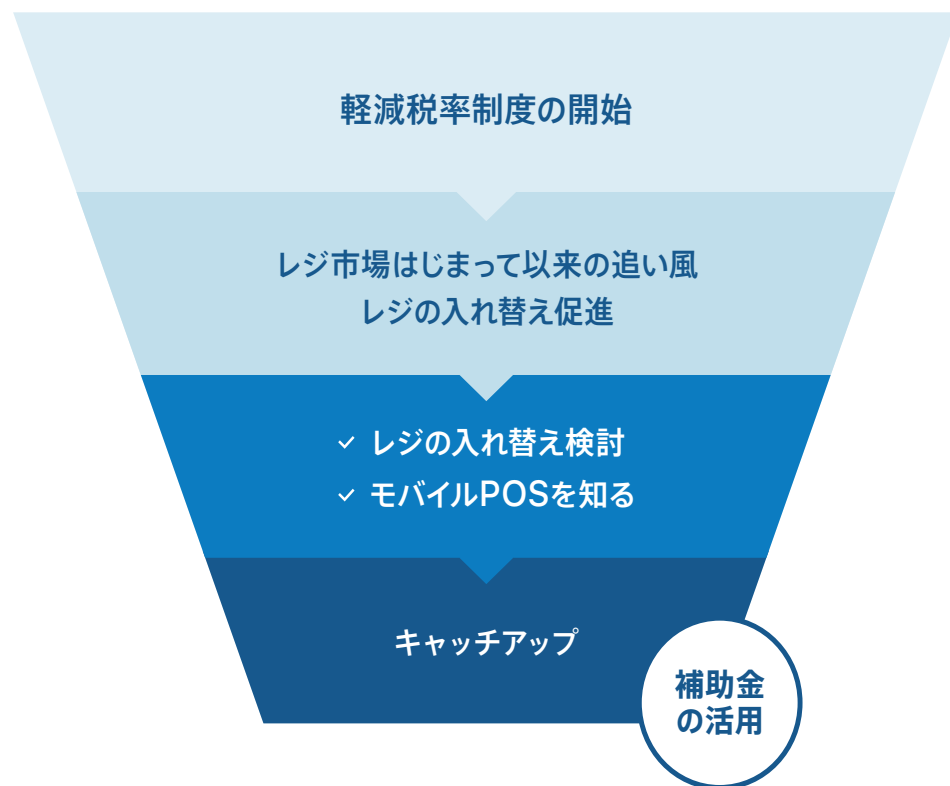
今後の展望

MEDIUM TERM PLAN

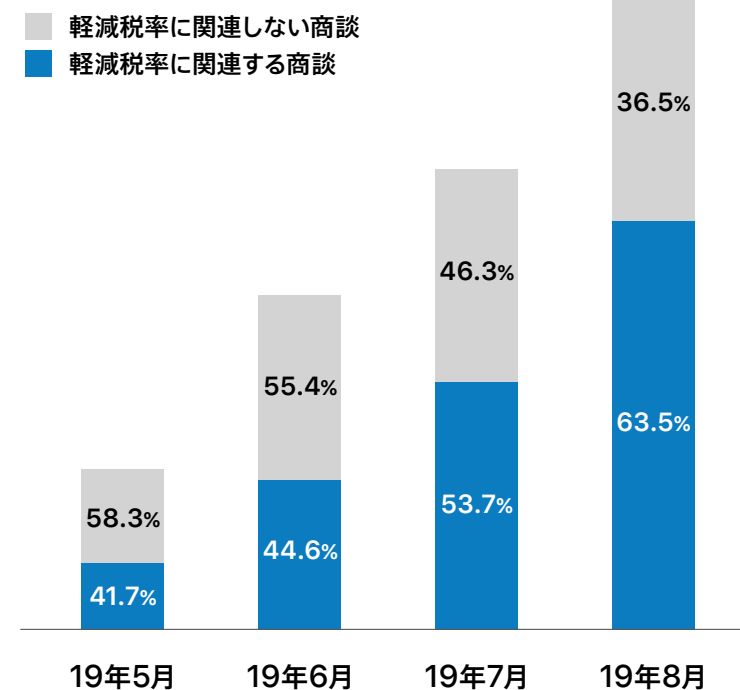
軽減税率対応の促進

レジ市場始まって以来のレジ入れ替え促進運動が継続中

2019年10月の消費増税が延期になったとしても、軽減税率対応需要は継続する
レジ入れ替えを検討するキッカケをしっかりとフォローしていきたい

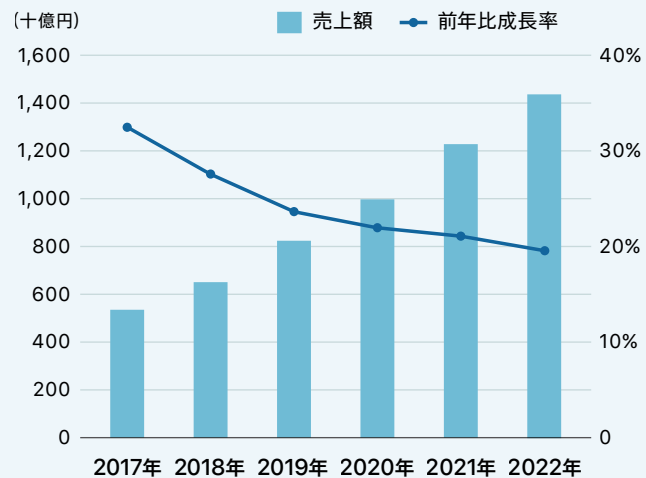


軽減税率に関する商談数の比率



SaaS含むパブリッククラウド市場は、今後も継続して成長
上場による認知や信頼性の向上により、大型案件や軽減税率に関係しない案件数も着実に増加
POSレジのクラウド化を率先し、業界を牽引する

国内パブリッククラウドサービス市場売上高予測



成長を続ける
クラウド市場

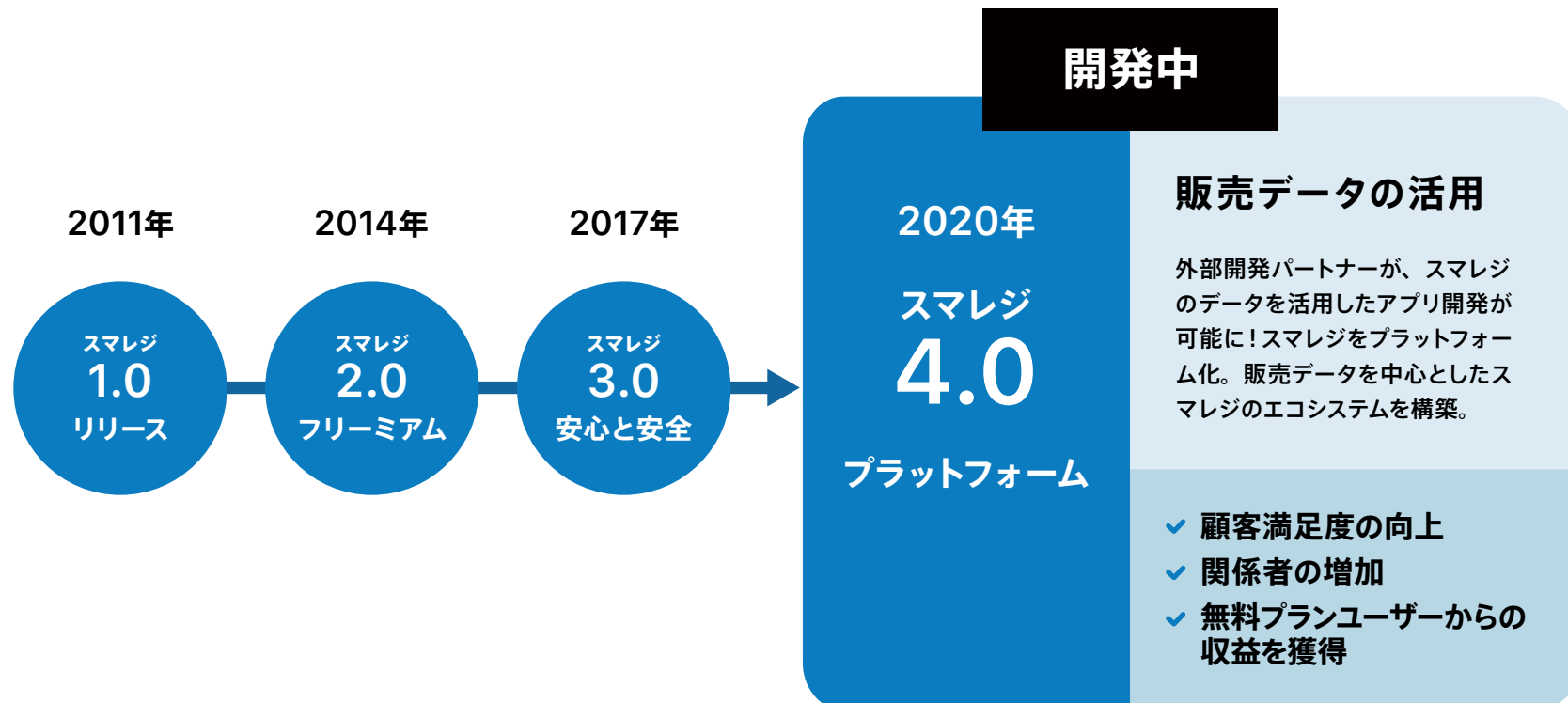
マーケティング
営業活動

クラウドへ
移行需要の
取り込み

データ参照：国内パブリッククラウドサービス市場予測、2017年～2022年（IDC Japan, 10/2018）

スマレジのバージョンアップ

顧客満足度の向上と陳腐化防止により定期的な大幅アップデートを実施
蓄積される販売データを中心にスマレジをプラットフォーム化



本資料に記載されている事業計画、業績予測などの将来の見通しに関しては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき当社が合理的であると判断したものです。これら将来の見通しは、市況や政治・経済状況など様々な不確実性を含むものであり、実際の業績とは異なる場合があります。

本資料は、当社株式の購入や売却等の投資勧誘を目的とするものではありません。投資は、ご自身の判断のもと、ご自身の責任において行なっていただくようお願いいたします。

FY2020 1Q 2019.5 ~ 2019.7

20年4月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社スマレジ